

音の小徑

Le sentier du son

松浦 真沙 作品集 ～文豪との出会い～



作曲/ピアノ
松浦 真沙



バリトン
武田 直之



メゾ・ソプラノ
相田 麻純



サクソフォン
有村 純親

プログラム

土井晩翠の詩による5つの歌曲
原民喜の詩による3つの歌

石川啄木の短歌による5つの小品
八木重吉の詩による2つの歌（初演） 他

2025年2月11日（火・祝）

開演 14：00（開場 13：30）

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1階
JR南武線「武蔵溝ノ口」駅
東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅 南口下車徒歩8分

全席自由 2,000円(要予約/4才以上入場可)

ご予約・お問い合わせ：0211premium103@senzoku.ac.jp
SENZOKUコンサートガイド：https://www.senzoku-concert.jp

※写真・ビデオの撮影および録音は固くお断りいたします
※駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください
※公演内容は変更になる場合がございます

Profile

松浦 真沙 Masa MATSUURA (作曲/ピアノ)

桐朋学園大学(音楽専攻)卒業。同大学研究科(作曲専攻)、アンサンブル・ディプロマコース(ピアノ専攻)修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科および室内楽科修了。奏楽堂日本歌曲コンクール(作曲部門)、日本モーツァルト音楽コンクール(ピアノ部門)などにて入賞。東日本大震災犠牲者追悼のためのレクイエム(2012/パナムジカ出版)はじめ器楽曲、声楽曲など、作品は日本はもとよりヨーロッパ諸国やアメリカでも演奏されており、2018年に開基1080年を迎えた大本山成田山新勝寺の記念奉讃歌(混声四部合唱)も手がけた。全音楽譜出版社より「Dreaming Stone」～Sax.&Pf.またはEuph.&Pf.のための～、サクソフォンのための「40のメロディック・エチュード」～読譜力と表現力を高めるための～(独奏用および二重奏用)が出版され、話題を呼んでいる。またアンサンブルピアニストとして、これまでにベルリンフィル、フランス放送フィル、N響など世界的なオーケストラの首席奏者やソリストたちとの共演を重ねているほか、国際コンクールや浜松国際音楽器アカデミーなどで公式伴奏者も務めている。作曲を石島正博、金子仁美、原田敬子、ピアノを今泉紀子、大崎かおる、小澤英世、ゴールドベルク山根美代子、星野明子、初見および伴奏法をJ.Koerner、今村央子、山洞智、音楽を名古屋木実の各氏に師事。東京藝術大学、上田女子短期大学非常勤講師を経て、現在洗足学園音楽大学講師。

武田 直之 Naoyuki TAKEDA (バリトン)

洗足学園大学音楽学部音楽科卒業 同大学院第1期修了 院2年次には制定初となる前田記念奨学生となった。現在各地においてオペラ、オペレッタ、宗教曲等のソリストとして数多くの舞台に出演。洗足学園大学創立80周年記念オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ役、国民文化祭オペラ「小鶴」(初演)番頭庄七役、日生劇場国際ファミリーフェスティバルオペラ「アラジンと魔法のランプ」大臣役 藤沢市制70周年記念オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」アルフィオ役 杉並区民オペラ「道化師」トニオ役「ジャンニ・スキッキ」題名役、神奈川オペラフェスティバル30周年記念公演「ローノの広場」キユースト役
クラシック以外でも、邦楽ミュージカル「夏花火恋名残」新門辰五郎役として新橋演舞場、そして「三人娘恋仇」では大場久八役として明治座の舞台に立った他、東京国際映画祭アニメ上映企画animecsTIFFで上映された松見真一監督「あうりん」で父親役の声優を務めたり、毎日映画コンクールアニメーション映画賞を受賞した川面真也監督「岬のマイイガ」にも声の素材として出演し、special thanksとして紹介されている。丹沢歌劇団主宰 洗足学園音楽大学講師

相田 麻純 Masumi AIDA (メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学音楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位、第77回日本音楽コンクール入選。明治安田クオリティオブライフ文化財団の奨学生としてイタリアに留学。モーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ役、ロシーニ《セヴィリアの理髪師》ロジーナ役、プッチーニ《蝶々夫人》スズキ役などのレパートリーを持ち、モーツァルト《フィガロの結婚》ケルビーノ役、フンパーディンク《ヘンゼルとグレーテル》ヘンゼル役など、メゾ・ソプラノの醍醐味ともいえる男性役も得意としている。宗教曲においては、ヘンデル《メサイア》、バッハ《ロ短調ミサ》、モーツァルト《レクイエム》、ロシーニ《スターバト・マーテル》、ベートーヴェン《第九》、メンデルスゾーン《賛歌》、ヴェルディ《レクイエム》、ドヴォルザーク《レクイエム》、マーラー《復活》など数々の作品においてソリストを務め、深く艶のある声には定評がある。洗足学園音楽大学および桐朋学園芸術短期大学講師。

有村 純親 Sumichika ARIMURA (サクソフォン)

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。文化庁芸術家在外研修員に選ばれる(フランス・パリ)。セルジー・ポントワーズ音楽院を経てパリ国立高等音楽院を最優秀の成績で修了。サクソフォーンを椎原昭代、斎藤広樹、須川展也、富岡和男、二宮和弘、ジャン・イヴ・フルモー、クロード・ドゥラングル、アルノ・ボーンカンパの各氏に師事。セルマー賞、フランスサクソフォン協会賞、パリ国際音楽コンクール大賞を受賞。サクシアーナ国際コンクール第1位、ローマ国際サクソフォンコンクール第2位、ミュンヘン国際音楽コンクールARDセミファイナリスト(日本人として最高位)。イタリア、オーストリア、スロヴェニア、中国など海外でもマスタークラスを行う。2022年にはスロヴェニア国立音楽大学にて客員教授を務めた。またリリースしたCD「ロマンス(with 松浦 真沙)」、「サクソフォーン・ルネッサンス(Quatuor B)」、「ロシアン・マスターピース(saxaccord)」がそれぞれレコード芸術誌特選盤に選ばれる。現在、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、尚美ミュージックカレッジ各講師。平成音楽大学、名古屋音楽大学客員教授。Quatuor B、Saxaccord メンバー、サクソフォックスのマルゴーのお友達プレイヤーとしても活躍中。

アクセスマップ (最寄り駅より)

